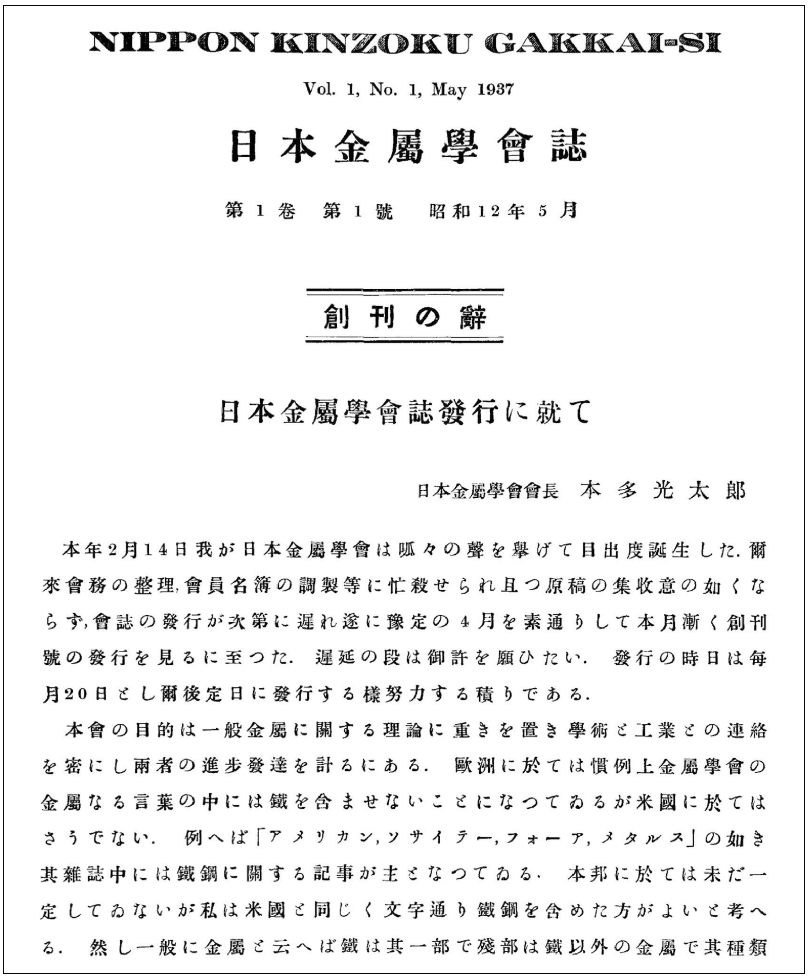
委員会だより

会誌編集委員会

会誌編集委員会委員長 佐 藤 英 一*

日本金属学会誌(以下，会誌)は，本会設立の1937年に創刊された学術論文誌である．図1に，「本会の目的は一般金属に関する理論に重きを置き学術と工業との連絡を密にし両者の進歩発展を計るにある」(原文の旧漢字を新漢字に変換)と謳う，初代日本金属学会会長本多光太郎先生による創刊の辞の冒頭を載せる．その後1960年に欧文誌 Transactions of The Japan Institute of Metals(2000年より Materials Transactions)，1962年に日本金属学会報(1994年より まてりあ)を分離し，金属のみならず関連する幅広い分野の研究成果を対象とする和文学術論文誌として現在に至っている．また，2013年以降は，全巻が金属学会ホームページ[1]および J-STAGE[2]上で公開されている．

私は，昨年よりこの会誌の編集委員長を拝命している．そこで改めて知ったのは，会誌の発行が危機的な状況であるということ．各号4篇程度の論文掲載がやっとの状態で，それを下回ると合本として隔月刊とせざるを得ないということであった．図2に，年間掲載数，年間投稿数，およびインパクトファクター(IF)の推移を示す．2005年頃には年間180篇ほど(各号15篇ほど)掲載していたが，徐々に減少し，2020年には年間52篇(各号4篇強)の掲載にまで落ち込んでいる．投稿時と掲載時の時間的ずれで投稿数が掲載数を下回っている年もあるが，平均して採択率は80%程度である．幸



NIPPON KINZOKU GAKKAI-SI

Vol. 1, No. 1, May 1937

日本金屬學會誌

第1卷 第1號 昭和12年5月

創刊の辭

日本金屬學會誌發行に就て

日本金屬學會會長 本多光太郎

本年2月14日我が日本金屬學會は呱々の聲を擧げて目出度誕生した.爾來會務の整理,會員名簿の調製等に忙殺せられ且つ原稿の集收意の如くならず,會誌の發行が次第に遲れ遂に豫定の4月を素通りして本月漸く創刊號の發行を見るに至つた. 遲延の段は御許を願ひたい. 發行の時日は毎月20日とし爾後定日に發行する樣努力する積りである.

本會の目的は一般金屬に關する理論に重きを置き學術と工業との連絡を密にし兩者の進歩發達を計るにある. 歐洲に於ては慣例上金屬學會の金屬なる言葉の中には鐵を含ませないことになつてゐるが米國に於てはさうでない. 例へば「アメリカン,ソサイテー,フォーア,メタルス」の如き其雜誌中には鐵鋼に關する記事が主となつてゐる. 本邦に於ては未だ一定してゐないが私は米國と同じく文字通り鐵鋼を含めた方がよいと考へる. 然し一般に金屬と云へば鐵は其一部で殘部は鐵以外の金屬で其種類

図1 日本金属学会誌，Vol. 1, No. 1(1937)1–2.

* 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所

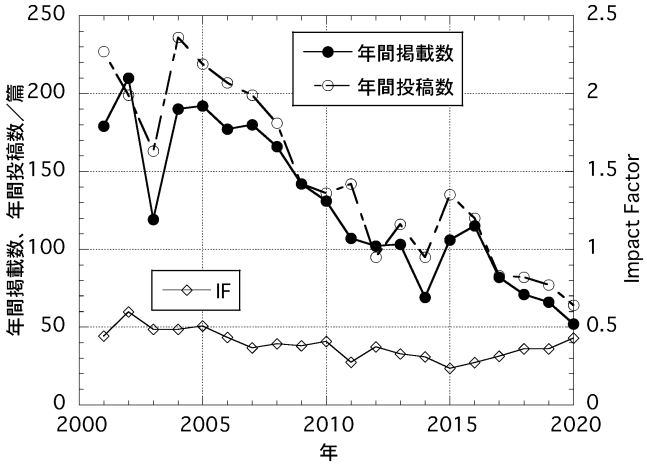


図２　日本金属学会誌における年間掲載数，年間投稿数，IF の推移．

い，IF は低いながら0.3～0.4程度を保っている．

近年とみに，大学等での研究者としての評価には一流の国際学術誌に掲載された英語論文の数が求められている中で，国内和文誌の意義を考え直してみる必要がある．そもそもは，自国の言語で科学技術を教育，研究し，成果を発表，議論する場を提供すること，ではないであろうか．物理や天文などの純粋な理学と異なり，工学の一分野である材料工学にとっては，背景にある産業を支えることは大きな命題であり，国際的アカデミアでの活動を主目的としていない企業の技術者や研究者にも，大いに活躍していただくことを期待している．そのような方々の発表の場として，また，将来アカデミアを目指す若者の前段階のトレーニングとして，会誌は役に立てるのではないであろうか．

そのような方々のために，会誌の利点を以下のように纏めてみた．

- IF の付いた冊子体とオンラインジャーナルの２形態の雑誌
- 投稿・掲載ともに無料
- 発行後，即時に全論文フリーダウンロードが可能
- 掲載決定後２年以内であれば，Materials Transactions への翻訳論文投稿が可能
- 日本金属学会 新進論文賞[3]の対象

また，世知辛いことではあるが，特に以下のような応募には，学術誌掲載論文が１篇でもあると有利になる．

- 日本学生支援機構奨学金の特に優れた業績による返還免除
- 日本学術振興会特別研究員 DC1，DC2

そのような学生さんには是非，会誌を活用していただけないかと期待するところである．

現在，編集委員会では，会誌の魅力を高め，投稿数を増加させるために，学会事務局と相談しながら，検討を進めている．皆様も是非，会誌の発展にご協力をいただければ幸いである．

文　　献

（１）日本金属学会ホームページ　https://jim.or.jp/PUBS/thesis_j/j_index.html
（２）J-Stage ホームページ　https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jinstmet/list/-char/ja
（３）日本金属学会ホームページ　https://jim.or.jp/INTRO/prize.html

(2021年７月16日受理)［doi:10.2320/materia.60.579］